

夏や秋の星置緑地の植物

星置緑地は春だけではなく、夏や秋にも植物の美しさを楽しめます。※カッコ内は開花時期の目安



タチギボウシ

ムラサキギボウシとも呼ばれ、濃い紫色の花が夏に咲きます。(7月中旬～8月下旬)



ノリウツギ

耐寒性の強いアジサイの仲間。道内ではサビタとも呼ばれています。(7月～9月)



ツルアジサイ

つる性のアジサイ。4弁の装飾花が美しく、長い間楽しめます。(6月～9月)



キツリフネ

ハウセンカの仲間。船をつり下げたような花がユニークです。(7月～9月)

他にも
いろいろな花が
楽しめるよ！
探してみてね！



◆住民の思いが結集し みどりのサポーターに

星置緑地は、ミズバショウの咲く時期にはたくさんの方が訪れていました。しかし、それ以外の時期はうつそうとしたやぶとなり、人の立ち入りづらいエリアとなっていました。

「この状況を何とかしたい」そんな思いを抱えた地域住民と手稲区が協力して、専門家の指導のもと、緑地の観察会と保全活動を始めました。活動をするたびに参加者が増え、これが後に「星置緑地みどりのサポーター」へと発展していきました。

みどりのサポーターは今も徐々に増えていて、手稲区内だけではなく、札幌市内外からも参加者が集まり、緑地を守るため、定期的に活動を続けています。

◆これからも続く 保全の取り組み

みどりのサポーターの協力により、春から秋にかけて緑地の外周の草刈りや緑地内の外来植物の抜き取り、ごみ拾いなどが行われています。保全活動は、平成16年に検

今では四季を通して人が訪れるようになった星置緑地。これからもみどりのサポーターの活動により、守り育まれていきます。

専門家の指導のもと、みんなで協力して楽しく保全作業を行っています。作業を重ねるたびに緑地がきれいになり、自然観察に来る人が増えていることを実感します。とてもやりがいを感じ、これからも続けていきたいです。



星置緑地
みどりのサポーター
さとう やすお
佐藤 康男さん



▲アシの抜き取り作業の様子

討が行われ、翌17年からスタート。当初は東側にアシ、西側にササが密生し、他の植物を追いやり、見通しの悪い状態となっていました。アシ、ササを刈り取ることで、陰に隠れていた植物に日が当たって元気になるため、四季折々の植物を観察できるようになりました。また、見通しが良くなり、防犯面での改善にもつながっています。



▲みどりのサポーターが
かぶっている帽子

この緑地は湿性林のため、木道以外には手が付けられておらず、貴重な自然が残されています。その魅力を探し出し、より良い状態を維持するにはどうすれば良いか、私も勉強しながらみどりのサポーターの皆さんと楽しんでいます。



保全作業などを指導する
(有) 緑花計画
りゅう とうざぶろう
笠 康三郎さん

「星置緑地みどころマップ」

緑地内の地図と、植物の紹介を掲載したマップです。

配布場所

- ・土木センター（曙5条5丁目）
- ・区役所広聴係（前田1条11丁目）



パンフ
レット
配布中

ホームページ公開中

手稲区土木部では緑地内の開花状況や取り組みなどを、随時、お知らせしています。

HP http://www.city.sapporo.jp/teine/dobokubu/hozenn_kaika.html

みどりのサポーターを募集しています。保全活動に興味のある方は、手稲区土木部までお問い合わせください。